

COC CAMPAIGN SCENARIO

Re:versus RAID

唯一無二のあなたへ。

シナリオ概要

01	はじめに	006
02	シナリオについて	007
03	シナリオ背景	008
04	関与する神話生物および呪文	010
05	関与するSCP作品	010
06	取り扱うSCP作品について	011
07	シナリオ舞台の各世界について	014
08	登場キャラクター	015
09	KP向け補足情報	022
10	PL向け事前情報(全体)	024

シナリオ本編

第一章	「 ^{あらか} 顕しのペガ」	026
第二章	「エダシクの ^{はいえな} 廃胞より」	078
第三章	「 ^{へび} 辺薇とトゥバン」	138
第四章	「ポラリスへ ^{こまにま} 漕ぐ隨に」	196

用語集	250
キーパリング資料	256
奥付	256

01

はじめに SCENARIO SPECS

この度は当シナリオをお手に取っていただき、ありがとうございます。
こちらはクトゥルフ神話TRPG (6版) 対応シナリオとなります。

この作品には、本シナリオ独自ギミック処理やメタフィクションの要素を含み、エンディング分岐によっては探索者へ第四の壁の認知が発生します。

難易度変更はご自由にどうぞ。

また、このシナリオには神話生物および呪文、SCP作品に関する独自解釈が含まれます。ご了承くださいませ。

最後に、この作品は、クリエイティブコモンズ 表示-継承 3.0ライセンス (<http://ja.scp-wiki.net/licensing-guide>) に基づきます。シナリオ内で取り扱ったSCP作品の引用元に関しては、別ページにて記載をしておりますので、併せてご確認くださいませ。

略字一覧

KP : キーパー
PL : プレイヤー
PC : 探索者
RP : ロールプレイ
AF : アーティファクト
MM : マレウス・モンストロルム

KP情報

このシナリオ内では、左右のコラムにキーパー向けの補足情報を掲載しています。コラム内の文章は基本的にプレイヤーへの開示は行わず、キーパリングのヒントとして参照してください。

シナリオについて INFORMATION

シナリオ形式 : キャンペーンシティ (現代)

プレイ人数 : 2 ~ 4人

プレイ時間 : 各話 3 ~ 5時間

必須技能 : [クトゥルフ神話] 1%以上

探索者条件 : 継続探索者限定

特徴 : CoC×SCP×メタフィクション

探索者の既存のキャラクターシートを基に、さらに3枚のキャラクターシートを作成する必要があります。

唯一無二のあなたへ。

夢を見る。違和感を覚える。それでも平等に今日は訪れて、世界の終焉を、感じるのだ。

4分 59秒間で、僕らの神話を飼いならせ。

02

本作品では、「SCP-582(たかさんの物語)」によって創造された複数の「複製された疑似クトゥルフ神話世界(複製世界)」と、オリジナルの探索者が存在する「本物のクトゥルフ神話世界(オリジナル世界)」、そして我々自身の存在する「高次宇宙」を舞台としている。「SCP-582」は自身に書かれた物語の内容を現実へ発生させるオブジェクトである。

事の発端は、「SCP-5500(作者の死)」によって生じた「第四の壁を超越して創作世界へ引きずりこまれたとあるCoCプレイヤー」からはじまる。「SCP-5500」はメタフィクション要素を前提とした作品であり、創作世界から見て高次宇宙に存在する「我々」と「創作世界のキャラクター」とが、第四の壁を突破して直接接触を行なうことで「物語の『ハッピーエンド』」を獲得しようと試みたマルチエンディング式の物語だ。

ただし、この試みは悲劇を招く。本来「創作世界から高次宇宙へ」の一方通行の接触であったはずの試みは、装置「S.W.A.N.N.エンジン」の暴走によって逆方向の通行、すなわち「高次宇宙から創作世界へ」我々の意識が囚われて創作世界のキャラクターと化してしまう、という事態が記事の閲覧を通して実際に発生する。

本作品における黒幕は、上記のギミックによって創作世界に組み込まれた「高次宇宙の存在へ戻ろうと試みる『かつて高次生命体であった人間』というキャラクターたち」である。

黒幕はS.W.A.N.N.エンジンを起動して再び第四の壁を突破し高次宇宙へ帰還するべく、「SCP-582」を用いてクトゥルフ神話TRPGの世界観を利用して創作世界に『物語』の改変を行ない、「複製世界」を生み出した。

そして、黒幕は「SCP-582」という「疑似ニャルラトテップ」の陰で「疑似アザトース」として機能し、「複製世界」は「疑似アザトース(黒幕)」が「目覚める(S.W.A.N.N.エンジンを起動して高次宇宙へ還る)」ことによって崩壊を迎えるという筋書きを構築する。

しかし、黒幕の目的は果たされない。なぜならば、「複製世界」はあくまでも黒幕が「SCP-582」を用いて創造した「クトゥルフ神話TRPG」の法則に準じた世界であり、『物語』は「探索者」の存在を必要とする『シナリオ』として成立しているためだ。

そのため、「複製世界」でいくら黒幕という「NPC」がS.W.A.N.N.エンジンを用いようとも、探索者のいない『物語』は十分に機能せず、高次宇宙への接触はできないでいた。

本作品に参加する探索者のうち、キャンペーン各章で作成される「複製探索者」は、以上の経緯によって『シナリオ』を成立させるための駒として「複製世界」に投げられる。

だが、彼らは「オリジナル世界」から継承した1%以上の[クトゥルフ神話]技能によって、「複製世界」での「本来の世界との違和感」を知覚することが可能だ。そして、プレイヤーとの協力によって複数の「複製世界」で連携をとり、世界の終焉を防ぐため、黒幕を追い詰めていく。

その一方で、複製探索者たちの活躍によって「オリジナル世界」にも影響が出始める。それぞれの複製世界の参照元である「オリジナル世界」が複製世界から「メタフィクション」「SCP作品」といった新しい要素の干渉を受けることで、「クトゥルフ神話TRPG」という世界観の壁を徐々に綻ばせてしまうのだ。

星々と物語を巡る対抗の果てに得られるものが、一体何なのか。

どのような結末を迎えるにせよ、それが本シナリオの『ハッピーエンド』となることを願う。

04

関与する神話生物および呪文

- | アザトース 基本ルールブック p.204
- | ニャラトテップ 基本ルールブック p.221
- | アザトースの招来/退散 基本ルールブック p.262

05

関与するSCP作品

- | SCP-407 創生の歌 作者 : Pair Of Ducks
<http://www.scp-wiki.net/scp-407>
- | SCP-582 たくさんの物語 作者 : Djoric
<http://www.scp-wiki.net/scp-582>
- | SCP-826 *ほんのなかにいる* 作者 : Clopine
<http://www.scp-wiki.net/scp-826>
- | SCP-6000 蛇、^{へらじか}篋鹿、放浪者の図書館 作者 : Rounderhouse
<http://scp-wiki.wikidot.com/scp-6000>
- | 『蛇の手』
<http://scp-jp.wikidot.com/serpent-s-hand-hub>
- | 『黒の女王』
<http://scp-jp.wikidot.com/black-queen-hub>
- | SCP-5500 (作者の死) 作者 : lhp
<http://www.scp-wiki.net/scp-5500>

取り扱うSCP作品について

06

SCP-407 創生の歌

URL	http://scp-jp.wikidot.com/scp-407
Object Class	Neutralized

未知の言語によるアカペラと思しき歌。財団がカセットテープに収録されている歌を収容していたが、『蛇の手』によって奪われ、現在は失われている。

この歌を聴いた者には急激な細胞生成が促進される。最初は怪我や病気が治癒される。しかし、継続して過剰な細胞生成が行なわれるため、最終的に歌を聴いた者の肉体は朽ちて植物や菌類が成長し、新しい生態系が発生する。

SCP-582 たくさんの物語

URL	http://scp-jp.wikidot.com/scp-582
Object Class	Keter

とある作品からはじまった、現実世界に「書かれた内容」を実際に引き起こし、現実を改変するミーム(特定の常識や固定観念といった情報を伝染させる行動)。一度書かれた内容は永久に連続して効果を発揮する。

SCP-826 *ほんのなかにいる*

URL	http://scp-jp.wikidot.com/scp-826
Object Class	Safe

一冊の本を挟むと、その本の世界へと迷い込むようになるブックスタンド。被験者だけでなくブックスタンド自体も、挟んだ本と一緒に本の世界のどこかに入り込んでいる。物語の結末を迎える前にブックスタンドと本を見つけ、ブックスタンドから本を取り外して別の場所へ移動をしないと、被験者は本の世界に登場人物として「組み込まれて」しまう。

SCP-6000 蛇、籠鹿、放浪者の図書館	
URL	http://scp-jp.wikidot.com/scp-6000
Object Class	Apollyon
<p>あらゆる別の平行世界と通じる「放浪者の図書館」と呼ばれる空間であり、同時にあらゆる世界そのもの。すべての知識を網羅しているアカシックレコード的な存在であり、絶えずさまざまな『物語』が創造される。</p> <p>ここで言う『物語』とは「存在するものすべて」であり、メタフィクション構造において我々が享受したり創造したりする「フィクション」全般のひとつひとつを指す。あらゆる知識、それが記憶するあらゆる存在。すなわち「事象」「組織」「NPC」といったすべてがそれぞれの『物語』であり、「SCP-6000」そのものも含まれる。</p>	

『蛇の手』	
URL	http://scp-jp.wikidot.com/serpent-s-hand-hub
Object Class	Apollyon
<p>SCP財団とは異なる組織で、要注意団体と呼ばれる組織のひとつ。SCP財団がオブジェクトを「確保・収容・保護」して世間一般から秘匿するのに対し、『蛇の手』はオブジェクトを積極的に開示し、共有しようと活動している。</p> <p>「放浪者の図書館」を本拠地とし、度々SCP財団のもとからオブジェクトを盗み出している。主導者らしき人物として「L.S.」という呼称が用いられ、『黒の女王』との関連性が指摘されているが、実際の影響力は不明である。</p>	

『黒の女王』	
URL	http://scp-jp.wikidot.com/black-queen-hub
Object Class	Apollyon
<p>無数の宇宙(平行世界)に存在する、「失踪した父親によって家庭崩壊を迎え、父親を発見しようともがく」という同一の出自設定をもつ女性キャラクターたちの総称。SCP財団への復讐や家族の再生を目的としており、『黒の女王』たちのごく一部が互いの存在を認識し、「放浪者の図書館」にて会合を果たしている。</p> <p>「放浪者の図書館」での『黒の女王』たちは、互いの存在を「妹たち」もしくは「L.S.」と呼称しており、『蛇の手』を主に情報収集の場として取り扱っているようだ。</p>	

SCP-5500 作者の死	
URL	http://scp-jp.wikidot.com/scp-5500
Object Class	Apollyon
<p>創作世界から見て高次宇宙に存在する「我々」と「創作世界のキャラクター」とが、第四の壁を突破して直接接触を行なうことで「物語の『ハッピーエンド』」を獲得しようと試みたマルチエンディング式の物語。</p> <p>「SCP-5500」の記事では登場キャラクターたちが第四の壁を突破し、高次宇宙の創作者に「ハッピーエンドの『物語』」を書かせようとするものの、何者かによって装置「S.W.A.N.N.エンジン」を悪用され、逆に創作者が殺されてしまう。さらに記事を読み進めると、実際に記事の閲覧者が登場人物のひとりとして表現され、創作キャラクターとともに「犯人」探しを行なうことになる。</p>	

シナリオ背景で前述した通り、本作品では、「SCP-582(たくさんの物語)」によって創造された複数の「複製された疑似クトゥルフ神話世界(複製世界)」と、オリジナルの探索者が存在する「本物のクトゥルフ神話世界(オリジナル世界)」、そして我々自身の存在する「高次宇宙」を舞台としている。各世界の概要については以下の通り。

高次宇宙

クトゥルフ神話 TRPGをフィクションとして楽しむキーパー、プレイヤーたちの存在する、我々の世界を指す。メタフィクション要素において創作キャラクターに知覚される世界であり、創作世界において最上級の黒幕的存在とされることの多い世界であるが、本作品では「フィクションを楽しむ上で複数存在する世界のうちのひとつ」とし、創作世界と対等な位置に据えている。

オリジナル世界

我々がクトゥルフ神話 TRPGを遊ぶことによって生じている、探索者たちの存在する世界を指す。本作品では第四章「ポラリスへ漕ぐ随に」にて登場する世界であり、「SCP-5500」をはじめとする数々の「クトゥルフ神話 TRPG」外の要素、つまりSCP作品やメタフィクション視点の要素の参入によって世界観の壁が薄れ、崩壊の危機を迎える。

複製世界

クトゥルフ神話 TRPGをベースにした、黒幕が「SCP-582」を使役して創造する世界を指す。本作品では第一章から第三章にかけて三種類の複製世界が舞台となっており、シナリオ内でそれぞれ「ヘガの複製世界」「エダシクの複製世界」「トゥバンの複製世界」と表記している。また、各複製世界に投げられる新規作成探索者(複製探索者)も同様に「ヘガの探索者」「エダシクの探索者」「トゥバンの探索者」としている。

黒幕 「NAMED」

STR	CON	POW	DEX	APP	SIZ
-	300	100	-	-	-
INT	EDU	HP	MP	SAN	db
-	-	300	-	-	-

記事「SCP-5500」によって創造された「第四の壁を超越して創作世界へ引きずりこまれたとあるCoCプレイヤー」というキャラクターの集合体。「複製世界」における疑似アザトースであり、本作品の黒幕である。

彼等の目的は、「SCP-5500」に登場するアーティファクト「S.W.A.N.N.エンジン」を用いて自身の存在を高次宇宙へ昇華し、創造元へと還ることだ。そのために「SCP-5500」の記事の特性を通じてさまざまなSCPオブジェクトについて接触し、創作世界からの脱出を試みる。

彼等はそれぞれ名前を持っているが、シナリオから一種類に断定することはできないため、便宜上「NAMED」としている。しかし、実際に「SCP-5500」の記事を閲覧した者であれば、彼等の名前のうちのひとつを知っているだろう。記事を閲覧した際に、入力を促された名前だ。黒幕「NAMED」は、我々によって創造され続ける。本作品に関わる「NAMED」たちのうち、最初に発生したキャラクターの名前は「kei nanashino」である。

荒鷲「あらわし」「コトカ・メイカラネン (Kotka Meikalainen)」					
CS	https://iachara.com/char/1441343/view				
職業	記者	母国語	フィンランド語		
性別	男性	出身	フィンランド		
年齢	24歳				
STR	CON	POW	DEX	APP	SIZ
11	12	11	13	10	12
INT	EDU	HP	MP	SAN	db
13	16	12	11	55	+0
写真術	60		説得	60	
聞き耳	75		英語	41	
図書館	50		心理学	30	
目星	60		博物学	55	
言いくるめ	60		歴史	60	
<p>名前はフィンランド語で「鷲」「我々に属する人(「名無しの権兵衛」にあたる苗字)」を意味する。</p> <p>銀髪のヨーロッパ系男性。ベガの複製世界で操作する「ベガの探索者」たちに共通の知人。</p> <p>ゴシップ雑誌の記者であり、「SCP-407」の存在を嗅ぎつけて探索者に取材の協力を頼むことになる。気さくで社交的な人柄であり、探索者たちのことを信頼している。</p> <p>しかし、彼は「SCP-582」によって物語に書き加えられた存在、すなわち、ベガの探索者のために創造された存在である。本人はこの事実を知らずに、与えられた役割に無意識下で従ってしまう。そのため、本人の意思とは別に、世界滅亡へ向けての行動をとってしまう。</p> <p>彼が「SCP-582」の拘束から逃れ、自由意思を獲得するためには、探索者のはたらきかけが必要不可欠だ。</p>					

終焉「未来のスルト」					
STR	CON	POW	DEX	APP	SIZ
12	19	100	19	18	11
INT	EDU	HP	MP	SAN	db
86	-	15	100	-	+0
技能	すべて99				
<p>ベガの複製世界における「SCP-582」。</p> <p>複製世界における疑似的な「ニャルラトテップ」であり、中性的な成人の姿をしている。</p> <p>ベガの複製世界にて『蛇の手』によって喪われたはずの「SCP-407」を、アイスランドを起点に暴露させる。そのための発端として「コトカ・メイカラネン」という人間を創造し、探索者をおびき寄せる餌として利用する。</p> <p>「SCP-407」の暴露に探索者を必要とする理由は「複製世界」の成り立ちにある。複製世界は「クトゥルフ神話TRPG」の世界観を利用して創造されているため、物語には必ず「探索者」を必要としている。ベガの複製世界以前の複製世界では「探索者」が存在しなかったため、満足に黒幕の目的を達成することができなかった。</p>					

鬣犬「たてがみいぬ」 「ハフサ・フラーン (Hafsah Fulan)」					
CS	https://iachara.com/char/1476675/view				
職業	歌手	母国語	アラビア語		
性別	女性	出身	リビア		
年齢	17歳				
STR	CON	POW	DEX	APP	SIZ
14	16	12	10	16	11
INT	EDU	HP	MP	SAN	db
15	11	14	12	60	+1d4
回避	60	目星	60		
こぶし	65	変装	70		
応急手当	60	信用	50		
隠れる	41	芸術：歌唱	70		
聞き耳	75				
<p>名前はアラビア語で「ハイエナ」「某の娘(「名無しの権兵衛」にあたる苗字)」を意味する。</p> <p>黒髪のアラブ系女性。「エダシクの探索者」たちの知る有名な歌手。幼少期に故郷の内戦で家族を失い、生き延びるために壮絶な日々を送ってきた。そのなかで「SCP-582」の接触と支援を受け、歌手としての成功を掴む。</p> <p>しかし、彼女の成功譚は「SCP-582」によって意図的に作られたものであり、完全な彼女の自由意思ではない。探索者から真実を伝えられれば、真相を求めて探索者と協力関係を結ぶだろう。</p>					

終末 「過去のアトム」					
STR	CON	POW	DEX	APP	SIZ
12	19	100	19	18	11
INT	EDU	HP	MP	SAN	db
86	-	15	100	-	+0
技能	すべて99				
<p>エダシクの複製世界における「SCP-582」。</p> <p>複製世界における疑似的な「ニャルラトテップ」であり、中性的な成人の姿をしている。</p> <p>ベガの複製世界にて『蛇の手』によって喪われたはずの「SCP-407」を、「ハフサ・フラーン」を起点に暴露させようと試みる。そのために彼女に「歌手として成功する人生」を与え、「SCP-407」を歌として伝授した。</p> <p>直接「SCP-407」の暴露を行わず婉曲的な手法をとっているのは、ベガの複製世界において「世界の終焉」が滞ったという『物語』が存在するためだ。「SCP-582」の効果は永久に連続して現れるため、エダシクの複製世界で繰り返し「世界の終焉」を書いても、その影響力はさらに抑えられてしまっている。</p>					

白蛇 「メレディス (Meredith)」					
CS	https://iachara.com/char/1441309/view				
職業	蛇の手の一員	母国語	英語(イギリス)		
性別	女性				
STR	CON	POW	DEX	APP	SIZ
12	13	13	10	9	14
INT	EDU	HP	MP	SAN	db
18	18	14	13	65	+1d4
回避	65	忍び歩き			70
ライフル	65	図書館			80
応急手当	65	説得			65
隠す	65	オカルト			80
隠れる	65	薬学			51
聞き耳	50				
<p>要注意団体「黒の女王」のフィールドノート「書架の狭間」にて登場する女性キャラクター。</p> <p>金髪のヨーロッパ系女性。要注意団体「蛇の手」の一員であり、「放浪者の図書館」の案内人。</p> <p>物語の『ハッピーエンド』に新たな一手を投じる可能性を持つ探索者たちに協力を仰ぐべく、「SCP-826」によって生成された空間を通じて「放浪者の図書館」から探索者の元へ訪れる。</p>					

少女 「形而上のイヴ」					
STR	CON	POW	DEX	APP	SIZ
12	19	100	19	18	11
INT	EDU	HP	MP	SAN	db
86	-	15	100	-	+0
技能	すべて99				
<p>「SCP-6000」にて生息する知性体「SCP-6000-A」。</p> <p>蛇に似た姿と、顔に「手首に巻き付く蛇の刺青」を入れたアジア系の少女の姿とをもつ。</p> <p>「放浪者の図書館」と深く関わる存在であり、その正体は、かつて「放浪者の図書館」にて『自分の物語』の結末を知ろうとした結果、自分の存在する世界すべてが『物語』である、という真実に気がついた少女。創作世界の『物語の結末』を観測しようとする過程で、複製世界と黒幕の存在を察知。探索者の存在が物語の『ハッピーエンド』に新たな一手を投じる可能性を持つと信じ、メレディスを通じて探索者への支援を行なう。複製世界において黒幕と真っ向から対抗できる唯一の存在。</p>					

少熊 「形而下のアダム」					
STR	CON	POW	DEX	APP	SIZ
12	19	100	19	18	11
INT	EDU	HP	MP	SAN	db
86	-	15	100	-	+0
技能	すべて100				
<p>オリジナル世界に存在する、人間体のニャラトテップ。</p> <p>複製世界とオリジナル世界の交錯する混沌を嗅ぎつけ、さらなる狂瀾をもたらすべく探索者に接触する。嘲笑とともにさまざまな選択肢を与えるが、それはいずれも外なる神のメッセンジャーとしての役割に収まるものでしかない。プレイヤーと探索者の意思次第では、ニャラトテップとしての役割すら超越させることもできるだろう。</p>					

NPCの取扱いについて

本シナリオはキャンペーン作品ということもあり、NPCの多くに「定められた役割」が存在し、行動の自由度が制限されている。そのため、シナリオギミックに関わるNPCの固定された行動については本文中に「上記の台詞/行動は絶対に実行すること」と明記している。もし、この固定された行動についてPLからNPCの行動を覆したいと強く要望を受けた場合は、KPから「物語の都合上絶対に覆らない」と提示してしまってもよい。

ここで指す『物語』は「SCP-582」だ。既に「SCP-582」によって『書かれた内容』であるために、永続的に効果が発揮され、覆ることがないのである。

各複製世界における正気度喪失について

複製世界では本物の神性や呪文が存在しないため、「正気度喪失」は本来の意味合いに加え「オリジナル世界と複製世界との差異を感知する感覚」として取り扱われる。

そのため、第一章から第三章にかけて、各複製探索者が減少させた正気度は、最終章にてオリジナル世界と連携をとることで、疑似的な「クトゥルフ神話技能」として機能させることが可能だ。探索者が獲得した「世界への違和感と狂気」を、滅びゆく複製世界の結末から脱するために利用することとなる。

複製探索者の言動に対する違和感について

継続探索者を基に新しくキャラクターシートを作成し、セッションに参加する過程で、プレイヤーがオリジナル探索者と複製探索者とを比較し、言動の差異に「違和感」や「動かしづらさ」を唱えるかもしれない。その際は「プレイヤーが覚えた違和感に応じて、探索者の正気度を任意の値即時減少させてよい」と提示してよい。

各章クリア時の処理について

第一章から第三章にかけては、シナリオをクリアしてもシナリオ構成上「エンディング」を迎えていないため、一律して「ルート:○○」とシナリオクリア到達表記を行なっている。また、各探索者の「生還かロストか」「探索者として継続可能か否か」についての判定は、最終章のエンディング選択によって決定されるため、最終章クリアまでの間は確定されない。

キャンペーン各章での記憶の継承について

本シナリオでは、キャンペーン各章ごとに別々のキャラクターシートを作成して複数の世界線による物語を体験するが、探索者たちはシナリオ冒頭部分で「前章までの記憶」を獲得し、継承する。この記憶の継承の原理は「各探索者はすべて同一プレイヤーのもと存在している」点であり、すなわち、プレイヤーを中継して各探索者は記憶を共有することが可能となっている。

以下の情報は、キャンペーン開始前にPLへ伝達が可能。各章でのPL向け事前情報は、前章クリア時に公開していくこと。

各章の推奨技能と探索者条件

「^{あらわ}顕しのベガ」

推奨技能 : [歴史][博物学][英語]

非推奨技能 : [聞き耳]

探索者条件 : 北欧地域に在籍、または長期滞在をしている

「エダシクの^{はいえな}廃胞より」

推奨技能 : [戦闘技能][図書館][アラビア語]

非推奨技能 : [聞き耳]

探索者条件 : エジプトへの渡航が可能である

「^{へび}辺薇とトゥバン」

推奨技能 : [目星][聞き耳][図書館]

探索者条件 : 2033年に存命している

「^{こまにま}ポラリスへ漕ぐ随に」

推奨技能 : なし

探索者条件 : なし

探索者選定・創造について

このシナリオでは、キャンペーンシナリオ各章の推奨技能に応じて、「もし探索者が別の人生を歩んでいたら」という想像を基に職業や一部の経歴を変えて技能を組み替え、新しいキャラクターシートを用意して遊びます。

そのために、最初に継続探索者から[クトゥルフ神話]技能を1%以上所有しているキャラクターを選択してください。次に、各章での事前情報とキャラクターシート作成方法を基に、合計3枚のキャラクターシートをキャンペーンシナリオを通じて作成する必要があります。

最終章では新規キャラクターシートの作成は行なわれません。また、既存のキャラクターシートもキャンペーン内で用います。



COC CAMPAIGN SCENARIO
Re:versus RAID

第一章
あらわ
顕しのべガ

01	シナリオ概要	030
02	シナリオ背景(顕しのベガ)	031
03	深く関与するSCP作品	033
04	登場キャラクター	034
05	PL向け事前情報(顕しのベガ)	036
06	導入	038
07	覚醒	039
08	噂話	040
09	予感	044
10	日常	045
11	直感	051
12	展望	053
13	悪寒	062
14	誘拐	065
15	歌声	068
16	黄金指輪と顕しの竜	070
17	終焉	074
18	ルート：R	077
19	ルート：V	078

01

シナリオ概要 INFORMATION

プレイ人数 : 2～4人

プレイ時間 : 3～5時間

推奨技能 : [歴史][博物学][英語]

非推奨技能 : [聞き耳]

探索者条件 : 北欧地域に在籍、または長期滞在をしている

既存のキャラクターシートを基に、推奨技能および事前情報を踏まえて新規のキャラクターシートを作成してください。

シナリオ背景 STORY

02

梗概

今回の章の舞台は「複製世界」のうちのひとつであり、[クトゥルフ神話]技能を所有する探索者が最初に「オリジナル世界」との差異に気付く契機となる世界となる。

詳細

物語に深く関わるSCP作品は「SCP-407(創生の歌)」「SCP-582(たくさんの物語)」。本来『蛇の手』によって喪われているとされる「SCP-407」を、「SCP-582」は世界滅亡のトリガーとして暴露させる。「SCP-5500」を通じて複数のSCPオブジェクトを複製世界に顕現させることで『物語』の強度を高め、最終的に「SCP-5500」に登場する装置「S.W.A.N.N.エンジン」の稼働率を向上させることが目的だ。

ベガの複製世界以前から、「SCP-582」は黒幕「NAMED」のもと創作世界に改変を行ない、複製世界を創造して、黒幕の目的を達成しようと試みてきた。しかし、複製世界は「クトゥルフ神話 TRPG」の世界観を利用して創造されているため、物語には必ず「探索者」の存在を必要としている。ベガの複製世界以前の複製世界では「探索者」が存在しなかったため、『物語』を完成させる、すなわち「S.W.A.N.N.エンジン」を稼働させる結末へ到達できなかった。

以上の経緯をもとに、「SCP-582」は探索者を複製世界へ投入をはじめ、「探索者」を主軸にした『物語』を書き、その上で世界滅亡という『バッドエンド』へ誘導しようと試みるのだ。

シナリオの終盤まで、探索者たちは「SCP-582」の誘導に沿って物語を展開していく。探索者たちの案内人となるのは「コトカ・メイカラ

ネン」という男性NPCだ。彼は「SCP-582」によって創造された存在であり、「SCP-582」と邂逅することで世界滅亡のトリガーを引いてしまう。

しかし、物語の結末は今回の章で確定されない。シナリオの中で自由に動き回ることのできる「探索者」の存在に触れることで、コトカ・メイカラネンにも自由意思が生まれる。その一瞬の隙について、コトカ・メイカラネンは「SCP-582」に対抗し、物語の『続きを書く』ことで探索者たちを救おうとする。

その結果、探索者たちの物語は、次章の舞台「エダシクの複製世界」へと引き継がれる。

今回の章は、プレイヤーにとっても探索者にとっても、キャンペーンの真相へ迫る準備運動としての要素を大きく持つ。「既存探索者から複製してセッションの進行を行なう」際のロールプレイや技能判定の違和感を覚えてもらいつつ、世界観に慣れてもらうとよいだろう。

今回の複製世界について

通称「ヘガの複製世界」。黒幕が創造した物語のなかではじめて「探索者」が登場する世界であるが、「SCP-407」が暴露され「S.W.A.N.N.エンジン」の稼働率が最も高くなっていることから、世界の生存率は絶望的である。最終章では「コトカ・メイカラネンの救出」によって世界滅亡の回避そのものを目指すことになる世界だ。

NPCの「コトカ・メイカラネン」については、プレイヤーの希望に合わせて自由に事前関係を設定してよい。ただし、「SCP-582」によって創造された存在であることから、親族関係のみ不可とする。性格についても「気さくで社交的な人柄」を軸に、キーパーの裁量で自由に特徴を追加するとよいだろう。ただし、彼の根底に通じているものは必ず「探索者を大切に思う、探索者の知人」である。

深く関与するSCP作品

SCP OBJECTS

03

SCP-407 創生の歌

URL	http://scp-jp.wikidot.com/scp-407
Object Class	Neutralized

未知の言語によるアカペラと思しき歌。財団がカセットテープに収録されている歌を収容していたが、『蛇の手』によって奪われ、現在は失われている。

この歌を聴いた者には急激な細胞生成が促進される。最初は怪我や病気が治癒される。しかし、継続して過剰な細胞生成が行なわれるため、最終的に歌を聴いた者の肉体は朽ちて植物や菌類が成長し、新しい生態系が発生する。

SCP-582 たくさんの物語

URL	http://scp-jp.wikidot.com/scp-582
Object Class	Keter

とある作品からはじまった、現実世界に「書かれた内容」を実際に引き起こし、現実を改変するミーム(特定の常識や固定観念といった情報を伝染させる行動)。一度書かれた内容は永久に連続して効果を発揮する。

荒鷲「あらわし」「コトカ・メイカラネン (Kotka Meikalainen)」

CS	https://iachara.com/char/1441343/view				
職業	記者	母国語	フィンランド語		
性別	男性	出身	フィンランド		
年齢	24歳				
STR	CON	POW	DEX	APP	SIZ
11	12	11	13	10	12
INT	EDU	HP	MP	SAN	db
13	16	12	11	55	+0
写真術		60	説得		60
聞き耳		75	英語		41
図書館		50	心理学		30
目星		60	博物学		55
言いくるめ		60	歴史		60

名前はフィンランド語で「鷲」「我々に属する人(「名無しの権兵衛」にあたる苗字)」を意味する。

銀髪のヨーロッパ系男性。ベガの複製世界で操作する「ベガの探索者」たちに共通の知人。

ゴシップ雑誌の記者であり、「SCP-407」の存在を嗅ぎつけて探索者に取材の協力を頼むことになる。気さくで社交的な人柄であり、探索者たちのことを信頼している。

しかし、彼は「SCP-582」によって物語に書き加えられた存在、すなわち、ベガの探索者のために創造された存在である。本人はこの事実を知らずに、与えられた役割に無意識下で従ってしまう。そのため、本人の意思とは別に、世界滅亡へ向けての行動をとってしまう。

彼が「SCP-582」の拘束から逃れ、自由意思を獲得するためには、探索者のはたらきかけが必要不可欠だ。

終焉 「未来のスルト」

STR	CON	POW	DEX	APP	SIZ
12	19	100	19	18	11
INT	EDU	HP	MP	SAN	db
86	-	15	100	-	+0
技能	すべて99				

ベガの複製世界における「SCP-582」。

複製世界における疑似的な「ニャルラトテップ」であり、中性的な成人の姿をしている。

ベガの複製世界にて『蛇の手』によって喪われたはずの「SCP-407」を、アイスランドを起点に暴露させる。そのための発端として「コトカ・メイカラネン」という人間を創造し、探索者をおびき寄せる餌として利用する。

「SCP-407」の暴露に探索者を必要とする理由は「複製世界」の成り立ちにある。複製世界は「クトゥルフ神話TRPG」の世界観を利用して創造されているため、物語には必ず「探索者」を必要としている。ベガの複製世界以前の複製世界では「探索者」が存在しなかったため、満足に黒幕の目的を達成することができなかった。

探索者は何らかの理由で、同一の北欧地域に在籍、または長期滞在をしている。そのなかで、ゴシップ雑誌記者である「コトカ・メイカラネン」と知人以上の仲だ。コトカは24歳の男性フィンランド人で、気さくで社交的な人物である。関係性は親族でなければ自由に設定可能。

そしてとある日、探索者はコトカからとある噂話を聞き、ひとつの取材の協力を頼まれる。

「最近、アイスランドで奇妙な歌が流れてるって話、聞いたことあるか？」

また、今回舞台となる北欧地域は、バルト三国を除けば多くの人が英語を話し、街中の表記も英語のものが多いため、シナリオ内で主に用いられる言語は[英語]としている。[英語]技能に関しては、30%以上を所有していれば日常生活や探索に支障が出ないものとする。

キャラクターシート作成方法

プレイヤーは事前に、以下の条件のもと新規のキャラクターシートを作成し、使用すること。

- ┆ キャラクター名、ステータスおよび[クトゥルフ神話技能]の値は既存探索者と統一する。
- ┆ 正気度は初期値(上限値が初期値を下回る場合は上限値)とし、過去の通過シナリオによる成長値や獲得アーティファクト、取得呪文については適応しない。
- ┆ 性別、年齢、経歴、職業、[クトゥルフ神話技能]を除く技能値は、今回の推奨技能および事前情報を踏まえて自由に組み換えを行なってよい。
- ┆ 過去の通過シナリオに関する記憶は「所有していない」または「夢に見たことがある」状態とし、自身の体験談としての自覚はないものとする。
- ┆ シナリオ参加探索者同士が既知関係である場合は、新しい別の関係性を設定するか、初対面と設定するかのいずれかとする。過去の通過シナリオの関係性を維持することはできない。

夢を見る。違和感を覚える。周囲を見渡す。

茫洋とした光景と、右手の痛み。やがて視界はゆらぎ、二脚の椅子に一脚の机が、浮かび上がる。ギリギリと不定形に耳を刺す感覚は、曖昧な表現で本能が必死に理解を拒むような、音色、のような、いや、拒否しようとも割り込んでくる不快でおぞましい笛の音、を、だんだんと五感に横たえてしまえば、その先に映るのは、……。

違和感が何なのかを掴もうともがき、そのはずみに、がしゃりと音色が崩れ落ちる。ばらばらに砕けた旋律が目の中の景色を引き裂いて、鋭くのたくって飛び上がり、あなた自身から、大量の触手が噴出し、破壊。焼却。崩落。轟音。殺戮。激痛。あらゆる暴力的な表現を伴って、何もかもを無に帰していく。

次々と死んでいく光景は、あなた自身のよく知るものばかりだった。

それは故郷だった。それは日常だった。それはあなたの一部だった。

それは世界だった。

世界が、蹂躪され、喪われていく。

あなたはそんな世界の終焉を感じながら、

「ああ、また、つくりなおした」

目を、覚ました。

07 [覚醒] へ »

黒幕「NAMED」および「SCP-582」の視点である。探索者の存在しない物語で満足にS.W.A.N.N.エンジンが稼働せず、高次元との接触がかなわないうる

身を起こせば、そこは探索者が普段眠る場所であり、普段と何ら変わらない様子で窓から伝わる朝の時間をついばんでいた。

どうやら不可思議な夢を見ていたようだ。得体の知れない不快感が、まだ少し身体に残っている。鈍い偏頭痛に似た感覚が薄らいでいくのを枕に置いて、探索者の一日が、始まる。

探索者は北欧地域で活動しており、それぞれ何ら変哲のない日常を送っている。北欧はヨーロッパ諸国のうち高緯度に位置する地域であるが、ノルウェー沖を流れるメキシコ暖流のため、他の同緯度の国と比べると寒さはおだやかだ。

そして、そんな北欧地域での生活のなかで、探索者はとある人物と知り合った。

奇しくも丁度、携帯端末に一件の新しいメッセージ受信の通知が届く。

差出人は「コトカ・メイカラネン」、まさに、探索者たちに共通の知人の名前だ。

彼は24歳の男性フィンランド人であり、ゴシップ雑誌の記者をしている。気さくで社交的な人柄もあって、これまでも何度か探索者たちへ仕事で見つけた奇妙な噂や取材の話をしたり、一緒に調査を行なおうと誘ってきたりしてきた。そして、こんな早朝からメッセージを送られる時は、大概そういった話をしてくるのが彼である。

メッセージを確認すると、次のような文面が探索者の目に飛び込んでくることだろう。

to. (探索者名)

おはよう!

ひとつ、興味深い話を聞きつけたんだ。

調査を行なうのに力を借りたいのだけれど、どこかで会えないかな?

from. kotka :)

キーパリング素材

本書をお持ちの方向けに、本文PDFや画像素材をまとめたセッション用素材をご用意しています。

下記URL先からダウンロードの上ご利用ください。



奥付

絶対励弩

Re:versus RAID

発行者 : No.74 研究所

執筆/イラスト : 七篠K

本文レイアウト : あけ

発行日 : 2021.11.2

連絡先 : nnsnlabo.74@gmail.com

Web : <https://www.nnsnlaboratory.com/>

Twitter : @trpgkallase

印刷所 : プリントオン株式会社

本シナリオの無断転載および複製、二次配布、インターネット上へのアップロードを禁止します。

シナリオを元にした派生物(リプレイ、小説、イラスト等)はシナリオのネタバレに配慮し、皆様の快いTRPGプレイングにご協力をお願い致します。

本シナリオを使用したことで発生した問題について、作者は一切の責任を負いません。ご了承ください。

本シナリオの内容はフィクションであり、実在する人物、団体、事件等は一切関係ありません。

本作は、「株式会社アークライト」及び「株式会社KADOKAWA」が権利を有する『クトゥルフ神話TRPG』の二次創作物です。

Call of Cthulhu is copyright (C)1981, 2015, 2019 by Chaosium Inc. ;all rights reserved. Arranged by Arclight Inc.

Call of Cthulhu is a registered trademark of Chaosium Inc.

PUBLISHED BY KADOKAWA CORPORATION